



2018年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年5月15日

上場会社名 朝日インテック株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7747 URL http://www.asahi-intecc.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮田昌彦
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)伊藤瑞穂 (TEL) (052) 768-1211
 四半期報告書提出予定日 2018年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年6月期第3四半期の連結業績(2017年7月1日~2018年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年6月期第3四半期	38,362	21.5	12,307	30.5	12,240	26.9	9,054	37.7
2017年6月期第3四半期	31,579	4.1	9,434	6.2	9,647	10.5	6,573	4.4

(注) 包括利益 2018年6月期第3四半期 9,399百万円 (15.9%) 2017年6月期第3四半期 8,111百万円 (72.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年6月期第3四半期	70.12	69.67
2017年6月期第3四半期	51.83	51.45

(注) 当社は、2018年1月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年6月期第3四半期	70,147	52,353	74.6
2017年6月期	63,246	44,659	70.6

(参考) 自己資本 2018年6月期第3四半期 52,346百万円 2017年6月期 44,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年6月期(分割前) (ご参考)	—	0.00	—	30.40	30.40
2017年6月期(分割後)	—	0.00	—	15.20	15.20
2018年6月期	—	0.00	—	—	—
2018年6月期(予想)	—	—	—	16.67	16.67

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 当社は、2018年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、2018年6月期(予想)の期末の1株当たり配当金については、株式分割後の金額を記載しております。

3. 2018年6月期の連結業績予想（2017年7月1日～2018年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,426	11.0	12,135	12.4	12,170	11.2	8,599	11.3	66.68

- (注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2 当社は、2018年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これにより、2018年6月期連結業績予想の1株当たり当期純利益については、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社（社名） 、除外 — 社（社名）

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年6月期3Q	129,218,800株	2017年6月期	128,969,600株
② 期末自己株式数	2018年6月期3Q	3,780株	2017年6月期	3,780株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年6月期3Q	129,128,640株	2017年6月期3Q	126,823,438株

- (注) 当社は、2018年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、発行済株式数については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
(1) 地域ごとの情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、現在進行している中期経営計画『Global Expansion 2018』において、「グローバル規模での収益基盤の強化」「患部・治療領域の拡大と製品ポートフォリオの拡充」「素材研究・生産技術の強化によるイノベーション創出」「グループマネジメントの最適化」を経営戦略に掲げ、企業価値向上に取り組んでおります。

その実現に向けた施策として、当第3四半期連結累計期間では、TOYOFLEX CEBU CORPORATION（フィリピン・セブ製造工場）に新設したメディカル工場の稼働開始や、樹脂塗装技術を有する日本ケミカルコート株式会社（取得後、非連結子会社）の全株式の取得、検査用ガイドワイヤー「Silverway（シルバーウェイ）」の販売開始に加え、主力製品PTCAガイドワイヤーの米国市場への販売について、2018年7月以降は直接販売を開始することを決議するなどし、当社グループの強みをさらに盤石化することに努めました。

今後におきましても、中期経営計画に基づく成長戦略を着実に進めていくことにより、企業価値の拡大を目指してまいります。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、従前に引き続き需要は堅調であり、特にメディカル事業の海外向け売上高が増加し、383億62百万円（前年同期比21.5%増）となりました。

売上総利益は、好調な受注と生産性の向上などに伴い売上総利益率が上昇し、268億3百万円（同25.8%増）となりました。

営業利益は、研究開発費や海外市場における販売・マーケティングの強化に伴う営業関係費用の増加により、販売費及び一般管理費が増加したものの、売上総利益の増加により吸収し、123億7百万円（同30.5%増）となりました。

経常利益は、為替差益が減少、為替差損が増加したものの、営業利益の増加に伴い、122億40百万円（同26.9%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加に伴い、90億54百万円（同37.7%増）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における外国為替レート実績は、下記となります。

- 1 米ドル=110.83円（前年同期108.31円、比2.3%増）
- 1 タイバーツ=3.40円（前年同期3.09円、比10.0%増）
- 1 ユーロ=132.16円（前年同期117.64円、比12.3%増）
- 1 中国元=16.92円（前年同期15.95円、比6.1%増）

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

（メディカル事業）

メディカル事業は、国内・海外市場ともに需要は堅調であります。

国内市場においては、直接販売を行っている主に循環器系領域の製品群が好調に推移いたしました。PTCAガイドワイヤーや貫通カテーテル「SASUKE(サスケ)」の販売が継続して伸長したことに加え、PTCAバルーンカテーテルの新製品「NC kamui（エヌシーカムイ）」がシェア獲得により増加するなどし、好調に推移いたしました。

海外市場においては、循環器系領域のPTCAガイドワイヤーや貫通カテーテルが、全地域において増加傾向にあります。そのうち米国・欧州中近東・中国市場においては、末端需要の増加に伴うものに加え、特需などの一時的な増加も含まれております。

以上の結果、売上高は318億66百万円（前年同期比26.7%増）となりました。

また、セグメント利益は、研究開発費及び営業関係費用の増加により販売費及び一般管理費が増加したものの、好調な受注による売上高の増加により、116億20万円（同31.9%増）となりました。

(デバイス事業)

デバイス事業は、海外市場における産業部材が好調に推移いたしました。

医療部材については、海外市場において、幼児用呼吸器部材の取引が増加したものの、米国向け末梢血管系治療用カテーテル部材の取引及び循環器系検査用部材の取引が減少したために減少し、また国内市場においても内視鏡関連部材の取引が減少したため、売上高は減少いたしました。

産業部材につきましては、国内市場が建築・自動車関係の取引の海外移管に伴い減少したものの、海外市場が国内からの取引移管や、米国向けレジャー取引が好調であったことなどから増加し、売上高は増加いたしました。

以上の結果、売上高は64億95百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

また、セグメント利益は、外部顧客への売上高及びセグメント間取引が増加したため、25億59百万円（同23.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当四半期連結会計期間末の資産につきましては、総資産額が701億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ69億円増加しております。主な要因は、受取手形及び売掛金が8億83百万円、仕掛品が7億50百万円、原材料及び貯蔵品が7億7百万円、有形固定資産が34億49百万円、投資その他の資産が7億円それぞれ増加したことによるものであります。

負債につきましては、負債合計額が177億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億93百万円減少しております。主な要因は、支払手形及び買掛金が3億51百万円、賞与引当金3億58百万円、長期借入金が1億円それぞれ増加した一方、短期借入金が16億25百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、純資産合計額が523億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ76億94百万円増加しております。主な要因は、利益剰余金が70億94百万円、その他有価証券評価差額金が2億58百万円及び為替換算調整勘定が74百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は当初予想に比べて好調に推移いたしましたが、通期連結業績予想につきましては現在の予想数値を据え置いております。

売上高が当初の想定以上に伸びることにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、当初予想をそれぞれ上回る見通しであります。メディカル事業の海外市場において、特需及びそれに伴う反動による影響度の把握が困難であること、為替動向が不透明なことに加え、研究開発や営業関係費用などを中心に将来の継続的成長のための積極的な費用投下を実施することを予定しており、これらを総合して勘案し、2017年8月10日に公表いたしました通期連結業績予想からの修正は行っておりません。

通期連結業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,992,651	19,387,274
受取手形及び売掛金	7,897,678	8,781,037
電子記録債権	669,441	938,001
商品及び製品	2,622,135	2,857,278
仕掛品	3,318,954	4,069,650
原材料及び貯蔵品	3,048,058	3,755,076
その他	2,185,583	2,609,303
貸倒引当金	△16,284	△20,980
流動資産合計	39,718,220	42,376,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,012,229	6,676,149
その他（純額）	11,983,994	15,769,809
有形固定資産合計	18,996,223	22,445,958
無形固定資産	653,888	746,176
投資その他の資産	3,878,415	4,578,643
固定資産合計	23,528,527	27,770,778
資産合計	63,246,747	70,147,420

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,540,770	1,892,472
電子記録債務	444,405	516,592
短期借入金	4,768,110	3,142,534
未払法人税等	1,472,452	1,496,539
賞与引当金	308,003	666,209
その他	3,751,517	3,151,298
流動負債合計	12,285,257	10,865,646
固定負債		
長期借入金	3,477,785	3,577,874
役員退職慰労引当金	24,908	24,908
退職給付に係る負債	965,812	1,037,351
その他	1,833,925	2,288,397
固定負債合計	6,302,430	6,928,531
負債合計	18,587,688	17,794,178
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,685,183	4,813,306
資本剰余金	7,607,046	7,735,169
利益剰余金	30,326,244	37,420,247
自己株式	△6,231	△6,304
株主資本合計	42,612,243	49,962,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	812,626	1,071,313
為替換算調整勘定	1,266,898	1,341,298
退職給付に係る調整累計額	△41,274	△28,778
その他の包括利益累計額合計	2,038,250	2,383,832
新株予約権	8,565	6,990
純資産合計	44,659,059	52,353,242
負債純資産合計	63,246,747	70,147,420

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年7月1日 至2017年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)
売上高	31,579,205	38,362,262
売上原価	10,281,024	11,558,965
売上総利益	21,298,180	26,803,296
販売費及び一般管理費	11,864,038	14,496,022
営業利益	9,434,141	12,307,274
営業外収益		
受取利息	9,410	26,454
受取配当金	14,310	27,066
為替差益	218,768	-
その他	82,285	45,929
営業外収益合計	324,775	99,450
営業外費用		
支払利息	31,019	35,629
固定資産除売却損	37,640	-
為替差損	-	108,385
その他	42,661	21,847
営業外費用合計	111,321	165,862
経常利益	9,647,595	12,240,862
特別利益		
新株予約権戻入益	691	17
特別利益合計	691	17
特別損失		
投資有価証券評価損	147,252	-
ゴルフ会員権評価損	4,000	8,351
その他	120	-
特別損失合計	151,372	8,351
税金等調整前四半期純利益	9,496,913	12,232,528
法人税、住民税及び事業税	2,544,353	2,882,373
法人税等調整額	379,008	295,871
法人税等合計	2,923,361	3,178,245
四半期純利益	6,573,551	9,054,283
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,573,551	9,054,283

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年7月1日 至 2017年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)
四半期純利益	6,573,551	9,054,283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,181	258,687
為替換算調整勘定	1,492,893	74,399
退職給付に係る調整額	16,415	12,495
その他の包括利益合計	1,537,490	345,582
四半期包括利益	8,111,041	9,399,865
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,111,041	9,399,865

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2016年7月1日 至 2017年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディカル事業	デバイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,148,411	6,430,793	31,579,205	—	31,579,205
セグメント間の内部売上高 又は振替高	50,931	1,765,549	1,816,481	△1,816,481	—
計	25,199,343	8,196,343	33,395,686	△1,816,481	31,579,205
セグメント利益	8,808,622	2,075,526	10,884,148	△1,450,007	9,434,141

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,450,007千円は、セグメント間取引消去と各報告セグメントに配分していない
 全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディカル事業	デバイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,866,767	6,495,495	38,362,262	—	38,362,262
セグメント間の内部売上高 又は振替高	50,266	2,645,271	2,695,538	△2,695,538	—
計	31,917,033	9,140,767	41,057,800	△2,695,538	38,362,262
セグメント利益	11,620,743	2,559,317	14,180,061	△1,872,787	12,307,274

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,872,787千円は、セグメント間取引消去と各報告セグメントに配分していない
 全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

(1) 地域ごとの情報

売上高

(単位：千円)

日本	米国	欧州・中近東	中国	アジア	その他	合計
14,518,409	6,944,377	7,688,165	3,942,849	4,377,359	891,101	38,362,262

(表示方法の変更)

前連結会計年度において「アジア」に含めて表示しておりました中華人民共和国の売上高については、重要性が増したため、当連結会計年度より「中国」として区分表示しております。